

板橋区環境基本計画（第三次）の策定について

1 趣 旨

区は、平成 5 年 4 月の『「エコポリス板橋」環境都市宣言』に基づき、平成 11 年 3 月に板橋区環境基本計画(以下「第一次計画」という。)を策定した。その後、平成 17 年 3 月の改訂を経て、平成 21 年 3 月には「板橋区環境基本計画(第二次)」(以下「現行計画」という。)を策定し、様々な環境施策を推進している。

現行計画の策定以降、環境行政を取り巻く状況は変化しており、特に、東日本大震災の発生とそれに伴う原子力発電所の事故は、社会経済情勢や区民の環境に対する意識を大きく変化させた。また、区においては、低炭素社会をめざしたまちづくりの実現に向けて、「板橋区らしいスマートシティ」展開の可能性について幅広く検討を進めるなど、環境分野に関する新たな取り組みも始まっている。

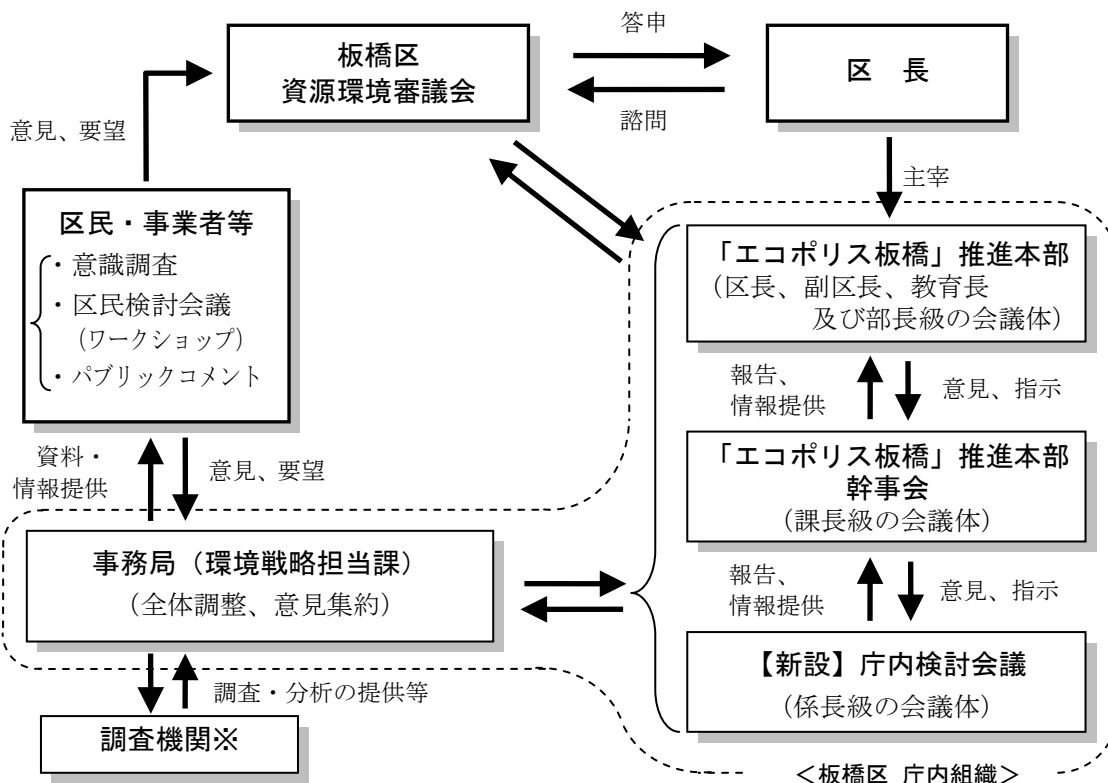
こうした背景や現行計画の期間が平成 27 年度末をもって満了すること等を踏まえ、今回、現行計画の進捗状況を検証・評価し、環境施策の総合的かつ計画的な推進を図る「板橋区環境基本計画(第三次)」(以下「第三次計画」という。)を策定する。

2 計画期間

概ね 10 年間を基本とするが、平成 27 年度に改定を予定している「板橋区基本計画」と整合を取る必要があるため、その状況などを踏まえて総合的に判断する。

3 策定体制

(1) 策定体制図



(2) 策定体制の構成・役割

組織名	構成	役割
板橋区資源環境審議会	区議会議員、学識経験者、地域団体等の代表者、区民、関係行政機関の職員、区職員	区長の諮問に応じ、環境基本計画策定について総合的に調査・審議し、答申する。
エコポリス板橋推進本部 及び同幹事会	【本部】 区長、副区長、教育長、各部長 (本部長は区長) ----- 【幹事会】 関係各課長(会長は資源環境部長)	区の現状、課題、施策の方向性等について検討する。また、板橋区資源環境審議会での審議・検討に必要な事項について、調査及び調整を行う。
(新設) 区内検討会議	関係各課の係長等 (会長は環境戦略担当課長)	

※調査機関:株式会社プレック研究所

4 区民・関係団体等の参画手法

(1) 区民意識調査

環境に関する区民意識の状態・変化を把握するため、現行計画の評価や本計画の施策検討に活用するため区民アンケート調査を実施する。区民アンケート調査は、郵送式及びインターネットを活用した Web 調査の両方を行う。

(2) 関係団体等ヒアリング調査

現行計画の目標・施策の進捗に対する満足度及び重要度を把握し、本計画の施策検証に活用するため関係団体等のヒアリング調査を実施する。

(3) 区民検討会議

区民等と連携し、現行計画での取り組みに対する評価や、第三次計画の新たな施策について検討するため、区民検討会議を開催する。

(4) パブリックコメント

第三次計画の策定体制で検討した内容に関してパブリックコメントを行い、区民などの意見を広く募集し、計画策定などに反映させていく。

(5) その他

環境基本計画の重要な要素である「望ましい環境像(長期目標)」の検討にあたっては、区民の共感と自発的な行動を生み出すことを目指し、ナラティブ・プランニング*と呼ばれる手法を活用する予定である。

5 策定スケジュール

別紙参照

*ナラティブ・プランニング……

「物語風計画手法」とも呼ばれるもので、区民の「思い」や「願い」を物語風の写真と文章で表現することで、共感と自発的な行動を生み出すことを目指す手法。物語を使ったコミュニケーションを用いることで、以下のような効果があると言われている。

- ① 「読みたい」という気になる (興味・関心喚起効果)
- ② 気持ちが揺れ動く (感情訴求効果)
- ③ 話の流れでメッセージを理解できる (文脈理解効果)
- ④ 登場人物と同じことをしたいと思う (行動誘発効果)